

北海道立総合研究機構第三期中期計画（令和2年度～令和6年度）の概要

1 趣旨

中期計画は、業務運営に関する目標として道が北海道立総合研究機構（以下「道総研」という。）に指示した第三期中期目標に基づき、当該中期目標を達成するため道総研が自ら策定するもの。今後、法に基づき道が評価委員会の意見を聴取の上、認可する。（地方独立行政法人法第26条第1項、北海道地方独立行政法人評価委員会条例第2条第1項）

2 中期計画の概要

(1) 計画期間

令和2年(2020年)4月1日から令和7年(2025年)3月31日まで

(2) 基本的な考え方

道が中期目標の検討のため実施した「第2期中期目標期間見込評価」（以下「見込評価」という。）結果や、道総研が策定した「研究開発の基本構想」を踏まえ、「選択と集中」を図った計画とする。

また、これまで培ってきた知見や技術等が、道内産業の振興や道民生活の向上のために活用されるよう、中期目標を踏まえた具体的な取組や数値目標を設定。

(3) ポイントと主な内容

【ポイント】

- 総合力を発揮して研究に取り組む観点から研究の重点化を進めることや、多様な財源の確保の観点から外部資金の獲得を図ることについて、新たな数値目標を設定
- 持続可能な循環型地域社会の創造に貢献する観点から、「研究の推進方向」の研究項目に「エネルギー」を追加
- 内部統制に関連する内容を整理するとともに、リスク管理や情報資産の適切な管理などの取組を推進

項目	主な内容
研究の推進及び成果の普及・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が一体となった提言につなげる取組の実施 ・北海道のあるべき姿を目指すため、実用化・事業化につながる研究の推進 ・研究の重点化を進めるため新たな数値目標の設定 ・「農業」「水産」「森林」「産業技術」「エネルギー・環境・地質」及び「建築・まちづくり」に関する研究推進項目を定め戦略的な研究開発の実施
知的財産の管理・有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・活用を促進するため関連業界団体への情報提供などの実施
総合的な技術支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等が抱える課題等に対し多様な手段を用いた支援 ・外部機関と連携した総合的な支援
連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関や行政機関との連携や取組内容の充実の推進
広報機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・効果や伝わり方などの情報収集・分析を踏まえた広報活動の質の向上
業務運営の基本的事項	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的、効率的な業務運営を展開するための予算や人員等の資源配分の見直し
職員の能力向上と人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方を推進するための環境整備
多様な財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・外部資金の獲得を図るため新たな数値目標の設定
施設・設備の整備及び活用	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等整備計画に基づき、施設の建替や移転・集約を進めるなど、計画的な施設・設備の整備
内部統制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・事故・災害等の緊急時の対応策について、必要な体制等の整備 ・セキュリティポリシーに基づく情報資産の適切な管理

(4) 運営費交付金

財務運営の効率化を図るため、計画期間における道からの運営費交付金については、研究費及び人件費を除いて、毎年度1%削減することとして試算